

1月定例北八ヶ岳白駒池山行報告



〔山 域〕北八ヶ岳連峰

〔日 時〕1/25 (土/晴) ~26 (日/曇り時々晴れ)

〔参加者〕CL 佐藤、SL 澤田(淳)、SL 金、下牧、澤田(路)、大木、加藤、小田、瀧瀬、高山(記録)

〔コース概要〕1日目：八千穂高原スキー場～白駒池(幕営)～高見石～白駒池テン泊

2日目：幕営地～麦草峠～茶臼山～麦草峠～幕営地(撤収)～八千穂高原スキー場



DAY 1 氷結した白駒池へ



8:50

メンバーが全員で 10 人、車 3 台に分乗して 1 月 25 日早朝千葉を出発し、朝日を浴びながら八千穂高原スキー場に着いたのは午前 9 時前だった。
準備を整えての出発、とことん楽しめるぞ！って感じ。



9:30

出だしはスキー場のリフト 1 本を利用(スキー場内は基本的に歩けないのでリフトか夏道利用)。冬山装備満載のどでかいリュックサックを携えてのリフト乗車は慎重を要する。



10:15

スキー場直上の林間コース、積雪量的には足がはまるほどではないが、結構固くなっているので、リーダーの指示によりアイゼンを装着し、しっかりした足取りで登っていく。



10:35

稜線に出る。
振り返ると浅間山への展望が素晴らしい！



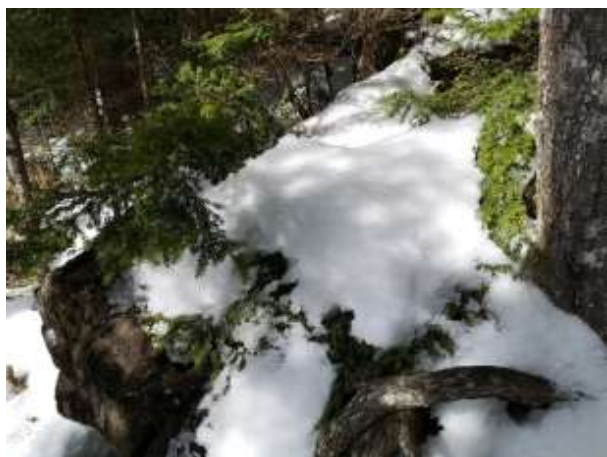
10:50

メルヘン街道と呼ばれる国道に出て、しばしの休憩を。



11:30

30 分間足らずの国道をぶらり歩きで、白駒池への登山道入口へ。ふわふわした深雪となり、ワカンやスノーシューの出番。
アイゼン歩きからの鞍替えなので、短めなコースで冬山装備の選択判断において良い勉強となりました。



12:10

柔らかい陽射しが入り込んで、雪に覆われた針葉樹の林間コース歩きは気持ち良い。今シーズンの積雪不足のせいか、登山道の脇にところどころコケが露出している。ただし、過度な脇見はご法度、木道を踏み外してずぼっと足がはまって“コケる”ことも。さすがコケの豊富さで有名な北八ヶ岳の森だなあ（笑）。



12:20

幕場の青苔荘へ到着。
雪の上で幕営、費用一人 1000 円也。
噂のごとくトイレがきれいでしかも暖房完備、テントより格段に快適そうに見える。唯一無二の悩み：出入りは登山靴の脱ぎ履きの繰り返し。



13:30

幕営終了（6-7人ジャンボ1張りと4-5人エ
スペース1張り）。
時間の関係でニューへのピストンから無理の
ない高見石へのハイキングに計画変更。
一面銀色に覆われた白駒池湖上を対角線にま
っすぐ抜けて、白駒荘へ。その裏側の登山道に
沿って高見石へ突進。



14:25

良い景色だ！白一色の浅間山がくっきり、
振り返れば中央アルプスも輝いている！
晴れ晴れした天気恵まれ、抜群の眺望を
楽しんでご満悦のメンバーたち。



15:15

山頂の冷たい風と冷えた体、それなら高見
石小屋のあま〜くて熱々の揚げパンに
熱々のコーヒー、これこそ無敵のチョイ
ス。

え〜、無敵？ 結論を付けるのは時期尚早だったわ。

幕営地に戻るやいなや、さっそくジャンボに潜り込んで宴会を。今晚のメインディッシュは

Kさんならではの**豚肉のキムチ鍋**（全員に大好評、賞賛の嵐👏👏👏👏👏👏）であり、
それに、副菜も多種多彩で各自に持参したサラダやチーズ、漬物、おつまみなどなどをシェアさ
れ、旨い山ご飯を食べながら山談義に花を咲かせ、いつの間にか周りには暗闇に包まれ、就寝。

DAY 2 エビのしっぽがいっぱいの茶臼山へ



7:45

朝ごはんを食べて、7時半出発で茶臼山へ。

白駒の奥庭を散策したら通り抜けると、間もなく国道299号の麦草峠。



8:45

国道を横切っていよいよ茶臼山への登山道に取り掛かる。先行者のトレースがしっかりあったので、ワカンやスノーシューを旧道分岐点近くにデポし、アイゼンを装着。少しでも軽い身で先の急登に備える。



8:55

海拔2232mの小ピークに立ったら、ガスっている中素晴らしい霧氷が当たりいっぱいに広がっていた。



8:55

まさに苦勞して雪山に来る者だけプレゼントされた景色だった。



9:15

山頂への急登がまっすぐ、最後の 30 分間はキツイなと感じたのは自分だけだっただろうか？



9:25

海拔 2384m の山頂は眺望が望めない森の中、なのですぐさま展望台へ移動。



9:30

すると強い風の中、期待していたエビのしっぽばかりか、対となって迎えてくれる白いイグアサまで居たのではないかな（笑）。



10:30

麦草峠に下山して、冬季通行止めの国道をてくてく歩く一行。幻想的な雰囲気（ガスの中）で懐かしそうに茶臼山に振り返る。良かったな、エビのしっぽもさぞかし旨いだろうな（笑）。



11:00

テンバに戻ってジャンボの中で餅を焼いて、焦げ目の付いた焼き立ての餅を使った餅入りコンソメスープで美味しく体を温める。なんて素敵な雪山山行だろう！



13:00

いくら雪山が良いと言っても、永遠に止まるわけにはいかない。テントを撤収して下界へ。途中の国道歩きも皆安全意識を忘れず、ちゃんと40キロ制限を守った（笑）。



13:15

スキー場の上のピーク剎が峰まで戻ると、朝から曇っていた天気も明るくなり、青空が望み、彼方の浅間山が“お帰り”と言っているようだった。



13:25

下界は晴れていた。青空に映える真っ白の白樺の姿が美しく絵になる。八ヶ岳の峰々を望む八峰の湯に浸かって帰葉。最後の瞬間まで八ヶ岳三昧の山行だった。

山行感想：

グリーンシーズンの北八ヶ岳は幾度も訪ねてきたが、雪に閉ざされたこの静かなコケの森に踏み入れるのは初めての経験となった。暖冬のせいか、テントの中は熱く感じつい薄着になる方も多く、また茶臼山頂の展望台の強風の中でも、シャッターを切る指の感覚もちゃんと有った。何時か本来の冬山の八ヶ岳を体験しにまた来ようかとの思いが生じた。それは何年先になるか分からないが、まずは楽しく、美味しい今回の山行を企画遂行してくださった CL、SL、食担の方々、ご一緒させていただいたすべての山行仲間感謝したい。どうもありがとうございました。またよろしくお願いいたします。

ところで、入会半年で山行記録を今回で 11 本目になるとは若干担当が偏在しすぎたような気がする。リーダーの皆さんに記録を任せられるのは嬉しい反面、負担も感じるようになったし、チームの他の役割（会計係など）も経験しなければ行けないなと思っていたりするようになった。